

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム いなほ園

目標達成計画書

作成日: 平成 26 年 11 月 06 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	地域社会と繋がりながら、利用者が地域の中で、その人らしい暮らしが出来るように取り組み、地域と信頼関係を築き、相互交流に向けて社会資源を活用していく。	ホームの介護技術や知識を職員を通して地域に広め、介護や認知症予防に繋がる勉強会を地域で実施し、介護相談や独居老人の安否確認などを、地域の方と連携しながら取り組んでいく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出支援	利用者の重度化が進み、車椅子を使つての異動が増加し、全員での外出が困難になる中で、個別やグループによる外出の支援を企画し、家族やボランティアの協力を得て企画していく。	重度化の利用者も外出は困難と決めつけずに、戸外に出掛け、家族やボランティアの協力を得て、気持ち良く、生き生きと過せる工夫をして外出し、地域の方にも認知症の理解と、啓発活動に繋がる取り組みをしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。